

# 令和7年度 北陸の海と港の技術情報交流会

## 発表技術募集要項

本交流会は、管内の港湾・空港等のインフラ整備に資することを目的に、民間企業で開発した新技術や技術開発の現状と動向、北陸管内の大学による研究発表及び当事務所における技術開発動向の共有を図ることで産学官の交流を深めるものである。

■主催：北陸地方整備局新潟港湾空港技術調査事務所 ■共催：一般社団法人日本埋立浚渫協会北陸支部

### 1. 開催日時

令和7年10月30日（木） 9：00～17：00

（受付、民間企業及び管内大学（新潟、富山、石川、福井）からの発表）

発表時間は、民間企業20分（発表15分、質疑応答5分）、管内大学15分（発表10分、質疑応答5分）程度を予定しております。

※開催時間、発表時間は発表数により変更となる場合があります。

### 2. 開催方法

対面とオンラインのハイブリッド形式（オンラインによる発表及び聴講可）

【対面】本会場：新潟大学駅南キャンパス ときめいと 講義室A・B

（新潟県新潟市中央区笹口1丁目1番地 PLAKA1 2階）

サブ会場：伏木富山港湾事務所 会議室 （富山県富山市牛島新町11-3）

金沢港湾・空港整備事務所 会議室 （石川県金沢市大野町4-2-1）

敦賀港湾事務所 会議室 （福井県敦賀市松栄町7-28）

【オンライン】 Microsoft Teams

### 3. 技術テーマ

#### 【民間企業】

公共事業に適用可能な技術全般とし、以下の1)～6)の何れかに該当するもの。なお、技術の成立性が確認されており、実際に使用可能な技術であることを条件とします。理論上のみ  
の技術の応募はご遠慮ください。

- 1) 防波堤上部工（パラペット）に使用するプレキャスト部材に関する新技術
- 2) 大規模港湾構造物（橋梁、臨港道路、第一線防波堤等）の点検における無人化・省力化に関する新技術
- 3) 海上工事における水中部施工の視覚化・省力化に関する新技術
- 4) 浚渫土砂（粘性土）を有効活用するための新技術
- 5) 沿岸防災、減災に関する新技術

6) 測量に関する新技術（ドローン、グリーンレーザー等）

#### 【管内大学】

以下の1)～6)の何れかに該当するものを基本とするが、下記のいずれにも該当しない場合は、土木建設技術等に関する研究であることを条件とします。

- 1) 港湾、海岸工学に関する研究
- 2) 港湾、海岸防災に関する研究
- 3) 港湾、海岸の維持管理に関する研究
- 4) 土木構造部材（コンクリート、鋼材）に関する研究
- 5) 船舶技術に関する研究
- 6) 沿岸部環境に関する研究 など

#### 4. 応募方法

下記の応募フォームからご応募ください。別途、技術概要を記載したパンフレット等の資料を提出いただく場合には、事務局へメールまたは郵送等にてご提出ください。

なお、応募技術について、事務局より問い合わせの連絡をさせていただく場合があります。

応募フォーム：<https://forms.cloud.microsoft/r/pNsRYTz8WK?origin=lprLink>



#### 5. 応募期限

令和7年8月22日（金）必着

#### 6. 事務局

国土交通省 北陸地方整備局 新潟港湾空港技術調査事務所

[担当： 技術開発課 山下（やました）、市川（いちかわ）]

住所：〒951-8011 新潟市中央区入船町4-3778

TEL：025-222-6115

E-mail：pa.hrr-gichoinfo@mlit.go.jp

#### 7. その他

- 1) 民間企業からの技術発表については、応募者多数の場合、発表をお断りさせていただく場合があります。
- 2) 選定結果通知及び発表要領等については、事務局より令和7年9月5日（金）を目処にご連絡します。
- 3) 本交流会の参加にかかる費用は応募者負担となります。
- 4) 本交流会は一般社団法人全国土木施工管理技士会連合会CPDSプログラムの認定を受

ける予定です。なお、オンライン参加の方はCPDSプログラムの認定は受けられませんのでご注意ください。

- 5) 本会場には駐車場を事務局で用意しておりませんので、ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。
- 6) サブ会場についても駐車場台数に限りがございますので、ご来場の際はなるべく公共交通機関をご利用ください。